



校	訓
実践	自律 自主



～参観日・PTA 人権教育講演会～



11月15日(金)は、参観日でした。多くの保護者の皆様に授業の様子を参観していただきました。ありがとうございました。お子様の様子はいかがでしたか?4月と比べ成長が感じられたでしょうか?学校では、毎日いろいろなことが起こります。生徒にとっては、楽しいことばかりではないかもしれませんが。それでも、日々学校の中で授業を受け、係や当番の役割を果たし、放課後には部活動をし、様々な行事を体験することで、子どもたちは確実に成長しているな、と感じています。秋も深まってきました。より落ち着いた学校生活と、家庭学習ができるといいですね。テスト範囲が発表になりました。ぜひ期末考査に向けて集中して学習に取り組むよう、ご家庭でもお子様を励ましてあげてください。



また、この日は、PTA 人権教育講演会でした。パリ・パラリンピックに出場した大江佑弥選手をお招きして「夢をもつこと そしてあきらめない」という演題でお話をお聞きしました。

大江選手は、富田小学校→玉島北中学校→倉敷商業高校出身の方です。現在は、玉島市役所で働きながら、パラ・アーチェリーをされています。就職してから、体に異変を感じ、病院に行くと脳出血が見つかります。その後27歳までに3度の脳出血に倒れ、右半身不随となってしまいます。その3度目の手術後に、パラ・アーチェリーと出会います。その後、多くの方々の助けを借りながら、2024年パリ・パラリンピックに日本代表として出場されたのです。その努力は、口では言い表せないほど壮絶なものだったと思います。大江選手は、倉敷商業高校ではレギュラーとして甲子園を目指す高校球児でした。学生時代に培った体力やあきらめない心が、大江選手を支えたのかもしれません。



講演会では、お話の他にパリ・パラリンピックの臨場感あふれる映像を見せていただき、大江さんが的を射る実演もを見せていただきました。また実際に何人かの生徒は、大江さんの持つアーチェリーを触ったり、引いてみたりと、普通ではできない貴重な体験をさせていただきました。



【生徒の感想】



脳出血で絶望の中だったと思いますが、それでも自分にできることはないかと考えて夢に向かっていくのがとてもかっこいいなと思いました。あきらめない心や夢を持ち続ける強い心で、これからも高みを目指して頑張ってください。オリンピック応援しています。

病気になっても、半身が麻痺しても「二度目の人生の幕開けだ」と思えるメンタルを見習いたいと思いました。努力を積み重ねてパラリンピックまで上り詰めたのがすごいと思います。やはり努力は報われるのだな、と思いました。夢を持ち続けあきらめないことがとても大切だと思ったし、夢をあきらめないことでその努力が報われるという希望をいただきました。これから自分も、努力をこつこつと続けていきたいです。

人生の中で自分の生活が大きく変わったときに、あきらめないことの大切さが伝わってきて感動しました。実演していただいた時の迫力がすごくて驚きました。アーチェリーと出会ったことで、世界中に友人ができたというお話は、困難もチャンスに変えるような大江さんのマインドや人生観が伝わり、とても感動しました。

